

令和7年度 中条小学校 グランドデザイン

教育目標

つよく かしこく あたたかく

目指す学校像

「笑顔と喜びあふれる楽しい学校」

自己有用感の向上(市共通取組事項)

学力の向上、不登校・いじめの減少、特別支援教育の充実(市共通課題)

重点目標

○学ぶ意欲の向上

自ら考え、学び、伝え合う

○認め合う人間関係づくり

思いやりの気持ちで温かな人間関係をつくる

○体力の向上と健康の増進

心身を鍛え、健康的に生きる

期待する子供像

自ら学ぶ子供

周りの人を大切にする子供

進んで体を動かす子供

目指す姿	※評価の％は、「1 達成 2 だいたい達成 3 やや不十分 4 不十分」のうち「1 達成」の割合による。		
	① 算数ワークテストの平均が80点以上の子供70%以上 (算数59%) ② 「もっと学びたい、もっと挑戦してみたい」と答える子供50%以上 (54%) ③ 「勉強が分かる」と答える子供40%以上 (45%)	④ どこでも相手に聞こえる声で挨拶できる」と答える子供60%以上 (49%) ⑤ 「ふわふわ言葉を通して周りの人に温かい言葉をかけることができる」と答える子供70%以上 (59%) ()内はR 6 年度後期の学校評価の数値、 ①⑥は前年度からの修正目標	⑥ 体力テストにおいて、「上体起こし」の項目で数値が上がった児童が60%以上 ⑦ 「運動・スポーツをすることが好き」と回答する児童が60%以上 (75%) ⑧ 家庭学習強調ウィークで平日4日以上、目標就寝時刻(※)を守ることができた子供70%以上 (66%) ※低学年午後9時、中学年午後9時半、高学年10時
具体的な取組	○算数の授業の中に復習タイムを入れ、基礎・基本を定着させる。 ○家庭学習習慣化のため、家庭学習強調ウィークを実施し、児童・保護者への啓発や「おおなっ子の家庭学習」を活用した指導を行う。 ○「学びたい」につながる単元づくりをし、自分の考えを深めるための対話的な授業を行う。 ○考えを可視化しユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導を行う。 ○基礎・基本定着の取組を職員間で共有する機会を設定する。	○挨拶目標を基に学級ごとに取り組む・目標に立ち返る場を設定する。 ・中学校・保護者と連携した挨拶運動 ○居心地のよい学級づくりを目指し、児童会が主体となりふわふわタイムを運営する。 ・他者からもらうふわふわカードをためて自覚化を図る。 ・WEBQUを分析・活用する。 	○学習カードを用いて、めあての設定と振り返りを重視した体育活動を行う。 ・個人記録や県平均値を提示する。 ○体幹を鍛える機会を設定する。 ・体づくり運動の例を提示する。 ○望ましい生活習慣のために保健だより、学年学級だより等による発信を行う。 ・平日の睡眠時間の目標が達成できたか振り返る。 ・カードを確認し、必要に応じ個別に声をかける。

うまし里 中条の家庭・地域とともに

- 小中一貫教育の実践的・主体的な推進
- 特別支援教育の推進・充実
- 地域の人・文化・伝統を生かした、地域とともに歩む特色ある学校づくり(CS「入って助けてもらう」「打って出る」「ともにつくる」三活動の推進)

☆読書推進活動
家読(うちどく)強調運動

☆地域発見・ボランティア
じょうもん市 中条大説明会

